

## BCAO 関西支部 平成 29 年 2 月度 (第 117 回) 地域勉強会議事録

日 時： 2017 年 2 月 15 日 (水) 18:50~20:30

場 所： 株式会社竹中工務店大阪本店(御堂ビル 地下 1 階:T's イノ ベーション サロン)

司 会： 鷺山氏 書記：藤村氏

参加者：藤村、小友、飯田、鷺山、紅谷、萩原、柳父、櫻本、佐々木、中村 (和)、速水、別役、山口、荒家 (以上、敬称略)

オブザーバー：武田氏 (株式会社インターネットイニシアティブ)

### テーマ① BCBG. WG 2016 年度活動報告

講師：柳父氏

- ・メンバー：田中 (座長)、飯田、伊藤 (聖)、伊藤 (高)、梅田、佐々木、徳永、野原、別役、柳父
- ・活動期間と活動回数：2014 年 7 月活動開始 (以前は、BIA. WG として活動)。本年、7 回開催。
- ・活動方針、方向性
  - ① 活動の方針は BC に関する様々な課題について自由に討論するワーキンググループである
  - ② 課題は WG メンバーがそれぞれ提起をして合意の上で優先順位を決めて取り組んできた
  - ③ BCP に関する取組方法及び標準テキストなどの内容をもとに議論を深めてきた
  - ④ これという結論はでていない。結論を出すことにこだわっていない
  - ⑤ 議論を重ねる結果、新たなテーマに魅力を感じて話しあったり、有益な検討材料が副産物として生まれた経過もある

#### 【第 1 回】

- ・テキスト選定と進め方について協議
  - 講習テキストの引用は運営上困難の為、その都度テーマを選定する
  - 活動期間は 1 年とするが、年度末に再度検討

#### 【第 2 回】

- ・「BC における初動対応の在り方」について議論
  - 製造業であれば、現地 (工場等) と本社の視点で「初動対応」の捉え方が異なる
  - 本社対応として、現場 (工場等) の初動に加えて BC 業務も並行してスタートする
  - 「BCP 発動」とは？災害発生時、本部対策本部立上げ等、タイミングは明確に特定しづらい

#### 【第 3 回~5 階】

- ・「BCP 発動」について議論
  - メンバー所属の原組織・旧組織での認識を情報共有

#### 【第 6 回】

- ・私学教育機関での事業継続 (少子化に伴い大学も淘汰される時代になった。私学経営における収入の大半は授業料に依存しており、一定の学生数を確保することは事業継続における課題)
  - BIA や RTO という考えはない
  - 事業継続や防災は重要であるが、学生獲得はもっと重要
  - 阪神大震災での大学間連携は、お互い様 BC のさきがけ事例

## 【第7回】

- ・今年度の活動まとめと今後のテーマ

→今後のテーマ：レジリエンス、国土強靱化、防災と危機管理、減災とレジリエンス、初動  
対応の深堀

### テーマ② 竹中工務店のBCPとBCソリューション技術紹介

講師：藤村氏、飯村氏

配布資料：竹中コーポレートレポート2016、リスクマネジメントとBCP/BCM

#### (1) 竹中工務店のBCP

- ・事業内容と規模の紹介
- ・建設事業、不動産売買・賃貸借、コンサルティングに大別される
- ・建設事業が事業の大半を占める
- ・建設事業は、事業計画→施設計画（設計）→建設→施設運用の流れで進む。発注者とは、施設  
存続する限りお付き合いする
- ・平常時の事業の特徴は、防災・減災技術の保有企業、屋外単品生産、竣工物件の多数存続と対  
応が挙げられる
- ・ビジネスインパクトとして、（大規模）地震影響が大きく、事業内容の変化が生じる
- ・竣工建物の対応は、不定期メンテナンスから応急対応→本復旧対応→通常業務に変化
- ・施工中建物の対応は、二次災害防止→通常業務に変化
- ・竣工建物と施工中建物の対応を、通常業務に上手く移行できるかが課題で、初動が重要
- ・初動の重要性について、阪神大震災時の事例紹介

入手情報量：6ヶ月後の総情報量に対し、40%（発災から1週間）、70%（発災から2週間）

現地調査量：6ヶ月後の総調査量に対し、55%（発災から1週間）、75%（発災から2週間）

→発災から6週間後に本復旧対応開始

- ・阪神大震災（1995年）時から22年経過し、情報ツール開発

→地震防災情報システム（DIS）

- ・施工建物の地震被害を瞬時予測し初動に活用。被災情報を追加でき本部運営に活用
- ・顧客の地震リスク対応に営業ツールとして活用

→建物調査帳票システム

- ・被災建物の状況を速やかに一元的に掌握するシステム
- ・顧客からの情報提供より早期情報入手可能。現地に近い社員による入力。
- ・被災情報は、建物外観等に限定。建物内部に入らない。

→情報管理システム

- ・掲示板機能、グループトーク機能、防災情報表示機能、外部サイトリンク機能

→協力会社との初動連携も訓練にて教育

#### (2) BCソリューション技術の紹介

- ・自然災害リスク、情報システムリスク、盗難リスク等を対応
- ・BCPのうち、リスクアセスメントを主に対応
- ・システム紹介①：地震リスク評価「TRAIN-BCP」

→地震による施設被害の概要を短時間で把握

構造体以外の二次部材、設備、生産機器、什器の被害も予測

復旧工事期間を算定

・システム紹介②：犯罪リスク評価「ISSOP-RT®」

→犯罪リスクを数値化し、対策費用とリンクさせ投資効果を見える化

・システム紹介③：犯罪リスク評価「文化遺産リアルタイム・セキュリティ・システム」

→画像解析技術を利用して、文化財への放火、犯罪を無人監視

以 上